

# 学生へのメッセージ 「医の道」



No.34 令和5年5月1日(月) 2023-4号

発行責任者: 神戸総合医療専門学校・松江総合医療専門学校理事長、新須磨病院院長 澤田勝寛

[isonare@ka2.so-net.ne.jp](mailto:isonare@ka2.so-net.ne.jp)

令和3年(2021年)9月13日創刊

## ◆学生の皆さんへ

新学期が始まって一か月が経ちました。  
みなさん元気ですか？

2年生3年生は実習が始まっているでしょう。  
現場に行くとは慣れない環境の上に、一見怖そうな雰囲気があり、緊張している事でしょう。

また、1年生は一番戸惑いがあると思います。  
まず医療用語がチンプンカンプンなうえに、はじめての90分授業で疲れがたまっていると思います。

でも心配ありません。誰でも最初はそんなものです。私も約半世紀前、医学部に入ったときは医療用語に戸惑い、長い退屈な授業に嫌気をさしたこともありました。

特に1年生は医療の基礎を学ぶ時期なのでよけい興味がわからないのかもしれませんが。  
それでも、それを過ぎて臨床に近いことを学ぶようになって、だんだん面白くなってきます。

医療はとってもいい仕事と私がいつも伝えているなかで、特に強調したいのは、前号でも書いたように医療という仕事は、患者さんに喜ばれることはもちろん自分も幸せを感じることができる仕事だということです。

人間というのは、自分が人の役に立ち、自分が必要とされていると思うと、幸せを感じやる気のでるものです。そんな思いを抱きながら私は45年間外科医として過ごしてきました。

3年2年1年生の皆さん。今はそのような仕事につくための修練期間です。この修練を終えた先には皆さんが一生を捧げていいと思うほどの天職が待っているのです。

石の上にも三年という言葉があるように、3年間頑張れば皆さんの前途は洋々と開けます。

私も教職員も全力で皆さんを支えます。一緒に頑張りましょう。

## ◆医学の勉強 その1

医学の勉強は、体の解剖や生理からはじまり、各分野ごとの病気や診断や治療などを学びます。覚えることは色々あります。

医学の勉強は面白いかといわれると、面白いばかりではありませんが、戸惑いながらまったく知らない人間の体のことを色々と学んでいくにつれて徐々に興味がわいてきます。

今はカリキュラム上、解剖・生理から始まります。いきなり骨や筋肉や神経や血管や各臓器の解剖を習うとチンプンカンプンのことばかりで、???といった感じになるでしょう。

ただ、それから、その臓器の役割である生理学を学び、その臓器ごとの病気の原因、診断、治療を学んでくると、医療がだんだん身近なものに感じられ、面白くなってきます。

解剖や生理を基礎医学、診断や治療を学ぶのを臨床医学といいます。

ちなみに、神戸総合医療専門学校の三木校長は神戸大学医学部で基礎医学の解剖学の教授をされていまして、私は卒業後は臨床医学の外科一筋で45年間やってきました。



散歩のついでに  
富士山に登った人はいない

事をひとつなしとげるには、それなりの覚悟と準備がいるということです。

学生の皆さんにとって一番大切なことは、国家試験に通るということです。国家試験は、合格率4%といわれる司法試験とは異なり、大半の人が通るわけですから、特別難しいわけではありません。それでも、絶対通ってやるという強い覚悟と、それなりの準備が必要です。

不思議なことに運命の女神は、準備が整って人に微笑むといわれています。